



上海黄山住宅コンペ提出案

上海中心部の東方に位置する大規模分譲住宅地開発の基本計画コンペ応募案

敷地面積は約12ha（公共緑地等を含む）であり、延べ面積約17万㎡・住宅地部分の容積率約156%の開発スキームに基づき、低層～高層住宅の混在による変化に富んだ総合居住街区の形成と、上海の地域性と生活習慣に配慮した住戸計画、魅力的な住棟デザイン、環境共生住区としての景観計画等が求められた。

提案においては、骨格軸として敷地西端の公共緑地を起点に東西を貫く緑地軸と、主要道路間を南北に結ぶ歩行者軸を設定し、全体性を有しつつもスーパブロックの住宅地を適切に分節化することで、変化に富んだランドユースを計画しました。さらに場所性に応じた5タイプの住棟を混在配置することにより、ヒューマンスケールの緑豊かな居住空間、景観を創出している。

敷地面積 12ha